

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第510号
令和6年6月10日発行

小中運動会



高等部体育祭



ご声援ありがとうございました

【みんなでいっしょに】うんどうかい だい・せい・こう！

小学部体育担当 阿部 由紀

小学部は、個人種目「ゴールをめざせ！よういどん！」と団体種目「スーパーフクタイフーン～走って跳んで大活躍～」でした。個人種目では、学年が上がるごとに走る距離が長くなる徒競走をしました。体育の時間に練習を積み重ね、18人全員が風のように駆け抜けることができました。団体種目では、ジュースをナッパに奪われ困っているマッコピーチを「助けよう！」と、1本のプールスティックを学年の友達と協力して持ち、「一緒パワー」でナッパからジュースを取り戻したり、ナッパミッションのミニハードルやブロックを乗り越えたりして、無事にマッコピーチにジュースを渡すことができました。今年度から新しくできた参加型種目「校長先生と教頭先生の落とし物を集めろ！」では、校長先生と教頭先生が落としてしまった紅白玉を児童と保護者、家族で力を合わせて時間内に拾い集めることができました。2024年の運動会は「友達と一緒に」「家族と一緒に」のように【みんなで一緒に】がキーワードとなる運動会となりました。

保護者の皆様からの温かいご声援を受けながら、それぞれの競技に、笑顔いっぱい、元気いっぱいで最後まで取り組むことができました。本当にありがとうございました。



全力！小・中学部運動会！

中学部体育担当 村山 洋平

今年度の中学部種目は、徒競走「ゴールテープを駆け抜けろ！徒競走オリンピック！」と団体種目「FUZOKU ミッションインポッシブル～みんなで指令をクリアせよ～」でした。速く走るためのポイントや友達と協力してミッションをクリアすることを意識しながら、体育の授業の中で繰り返し取り組みました。本番の徒競走では42.195m先のゴールテープに向かって、最後まであきらめずに一人一人が全力で走り切ることができました。団体種目では、凄腕エージェント「ムラ・クルーズ」から出された数々のミッションをチームの友達と協力しながら取り組むことで、見事すべてのミッションをクリアすることができました！当日はたくさんの方々の声援の後押しで、一人一人が全力を出し切ることができました。

また、開・閉会式での生徒会による司会進行や開会式での中学部3年生の代表の選手宣誓、小・中合同リレーの各チームアンカーによる気合いの掛け声など、中学部として仲間を引っ張り、盛り上げる姿も立派でした。競技だけではなく、一人一人が自分の役割を最後まで全力でやり遂げることができた運動会となりました。たくさんの方々の温かいご声援ありがとうございました。



KTB 体育祭 2024！

高等部体育担当 齋藤 瞭汰

当日は天候にも恵まれ、生徒たちは練習の成果を十分に発揮しながらはつらつと活動することができました。生徒会や応援団、ダンスリーダーが中心になり、一人一人が役割を全うしながら自分たちの手で体育祭を作り上げました。生徒会長の開会宣言、応援団による元気な選手宣誓に始まり、選択種目の50m、800mでは、得意な方を選択して、自分の記録に挑戦し、体育祭当日にもたくさんの生徒がベストタイムを更新することができました。大玉送りでは、練習時に自分たちで順番や役割分担などを考え、相談し、高等部らしい白熱した競技を見せてくれました。新種目の参加型種目では生徒会が自分たちで種目を企画し、準備を進めてきました。当日はたくさんの方々の保護者・卒業生の方々からご参加いただき、大盛り上がりとなりました。最終種目の学部リレーでは、チーム関係なくお互いを応援し、一人一人が一生懸命にバトンをつなぐ姿が印象的でした。生徒全員が楽しみながら活動することができ、体育祭の成功を全員で喜び合うことができました。保護者の皆様や卒業生の皆さんからは、大きな拍手や温かいご声援をいただき、ありがとうございました。

